

(1) 複合免疫療法にて治療した肺性肥大性骨関節症を合併した肺腺癌の 1 例

全著者名：古橋一樹，藤本源，平井貴也，小久江友里恵，都丸敦史，小林哲

全著者所属先：三重大学医学部附属病院呼吸器内科

連絡責任者氏名：古橋一樹

連絡責任者所属先：三重大学医学部附属病院呼吸器内科

(2) 要旨：症例は 55 歳，男性．両膝痛，下腿痛を契機に医療機関を受診した．理学所見でばち指を認め，四肢単純 X 線写真および骨シンチグラフィで長管骨の骨膜新生を認めた．精査の結果，肺性肥大性骨関節症を合併した肺腺癌 stage IVB の診断となった．1 次治療としてカルボプラチン＋ペメトレキセド＋デュルバルマブ＋トレメリムマブを投与し，腫瘍の縮小とともに関節炎等の症状は改善した．肺性肥大性骨関節症に対して抗 PD-L1 抗体および抗 CTLA-4 抗体を投与した報告はなく，稀な症例と考え報告する．

(3) キーワード：非小細胞肺癌，肺性肥大性骨関節症，免疫チェックポイント阻害薬，デュルバルマブ，トレメリムマブ

Non-small cell lung cancer, Pulmonary hypertrophic osteoarthropathy, Immune checkpoint inhibitor, Durvalumab, Tremelimumab

短縮タイトル：複合免疫療法で治療した肺性肥大性骨関節症合併肺腺癌